



下水道施設も津波による建造物への被害や、浸水のため機器類が利用不能になる等多くの被害を受けました。



図 2-5 雨水施設の被害状況

(左：湊排水ポンプ場(沈砂池に流入した瓦礫)、右：釜排水ポンプ場(放流渠が被災))



図 2-6 雨水施設の被害状況

(左：門脇排水ポンプ場(周辺が水没)、右：釜幹線(瓦礫が混入))



図 2-7 石巻東部浄化センターの被害状況(宮城県 HP より)

(左：津波襲来時、右：津波後(重力濃縮槽付近))

下図に示すとおり、都市別の津波浸水面積は、被害を受けた都市の中で石巻市が突出しています。

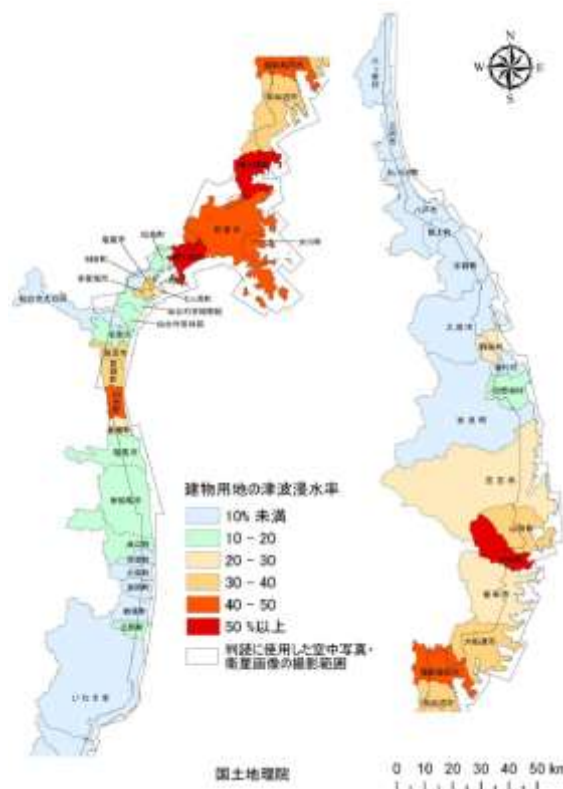
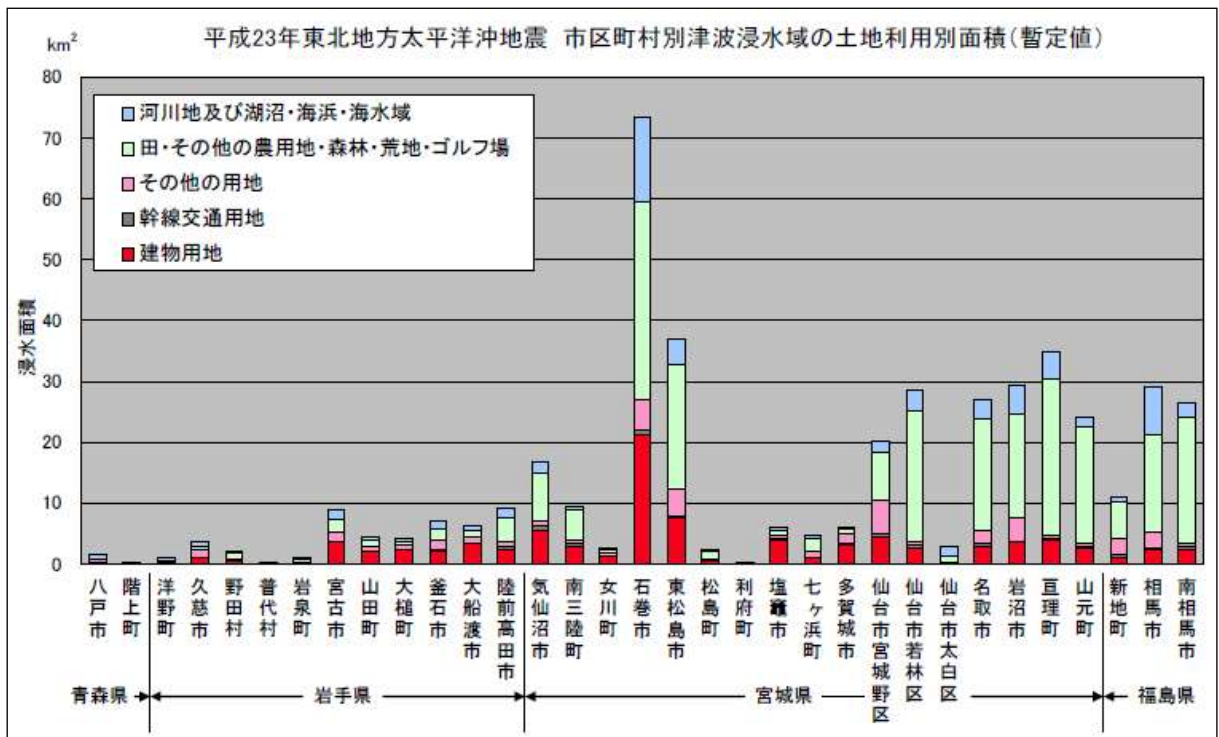


図 2-8 都市別浸水面積の状況 (国土地理院 HP より)

また、地盤沈下の影響と排水ポンプ場が被災したことから、市役所がある中心市街地を含む広範囲の地域において数日間に渡って滞水し、初期救助活動に支障が出ました。



図 2-9 市役所付近の浸水状況

(左：市役所南側：被災1日後、右：西側市民広場とJR線：被災2日後)



図 2-10 石巻駅北側地区の浸水状況

(左：東中里付近で舟による救助活動(被災3日後)、右：水明南地区の排水ポンプ車による排水状況(被災5日後))

市街地に入り込んだ津波による浸水は、3月13日住吉排水ポンプ場の応急的な稼働と、国交省の排水ポンプ車による排水を実施したことで、順次、解消されました。



図 2-11 国交省の排水ポンプ車による排水(国交省発表資料)